

本時のねらい

校外での体験学習に向けて、電車の運賃や経路を自分で調べ、当日の行動を確認する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

教育支援ソフト（Google フォーム）を用いて情報を収集し、目的地の電車の経路・時刻・運賃などを調べ、日常生活にの手段として活用するための練習をする。

スケジュールの管理をするために、教育支援ソフトを用いて、自分の行動や予定を把握していく手段を身につける。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット端末
- ・テレビ
- ・Chrome キャスト
- ・フォーム作成ソフト（Google フォーム）
- ・プレゼンテーションソフト（Google スライド）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のスケジュールを確認する。 〔校外学習に向けて〕 ・校外学習実施についての目的を知る。 ・行き先や学習内容を知る。 	
展開 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○校外学習に向けて、電車の時刻・所要時間・乗り換え・運賃などをインターネットで調べる。 ○行き先の最寄りの駅などを理解する。 ○インターネットで「yahoo!路線情報」を開くため、教室前方のテレビに表示したスライドと同じ手順でページを開く。 ○出発駅・出発時刻を入力し、乗り換える駅と所要時間・到着時刻・運賃を調べる。 ○運賃・時刻などをプリントに書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「yahoo!路線情報」を開くための手順と同じ画面を、Google を開くところから、スライドで順に従って教室前方のテレビに表示しながら、丁寧に説明をしていく。 ・テレビの画面を見ただけではわからない生徒へは、個別に机間指導をする。 ・駅名は正確に入力しないと、違った駅になってしまうことを伝える。
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○当日スケジュールの行動確認をする。 ○自分が調べたいと思ういろいろな目的地を、「yahoo!路線情報」を用いて、調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたいところの最寄りの駅なども調べ、実生活でもインターネットの路線情報を活用できるように練習をする。 ・早く着きたいか、運賃を安くしたいか、経路を短くしたいかなど、選択肢がさまざまなことを伝える。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1 インターネットのサイトで、電車の時刻や所要時間、運賃などを調べている場面



写真2 停車駅などを調べている場面



写真3 調べた電車の時刻や所要時間、運賃などをプリントに書き写している場面

児童生徒の反応や変容

家族と出かけるときなど、車での移動が多くなっている状況下で、ほとんどの生徒がインターネットで電車の時刻や経路・運賃を調べるサイトを知らず、興味を持って取り組んでいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

スライドを用いて、インターネットでの検索方法を提示し、教員と一緒に進めていくことで、一人ひとりのペースに合わせて学習を進めることができた。